

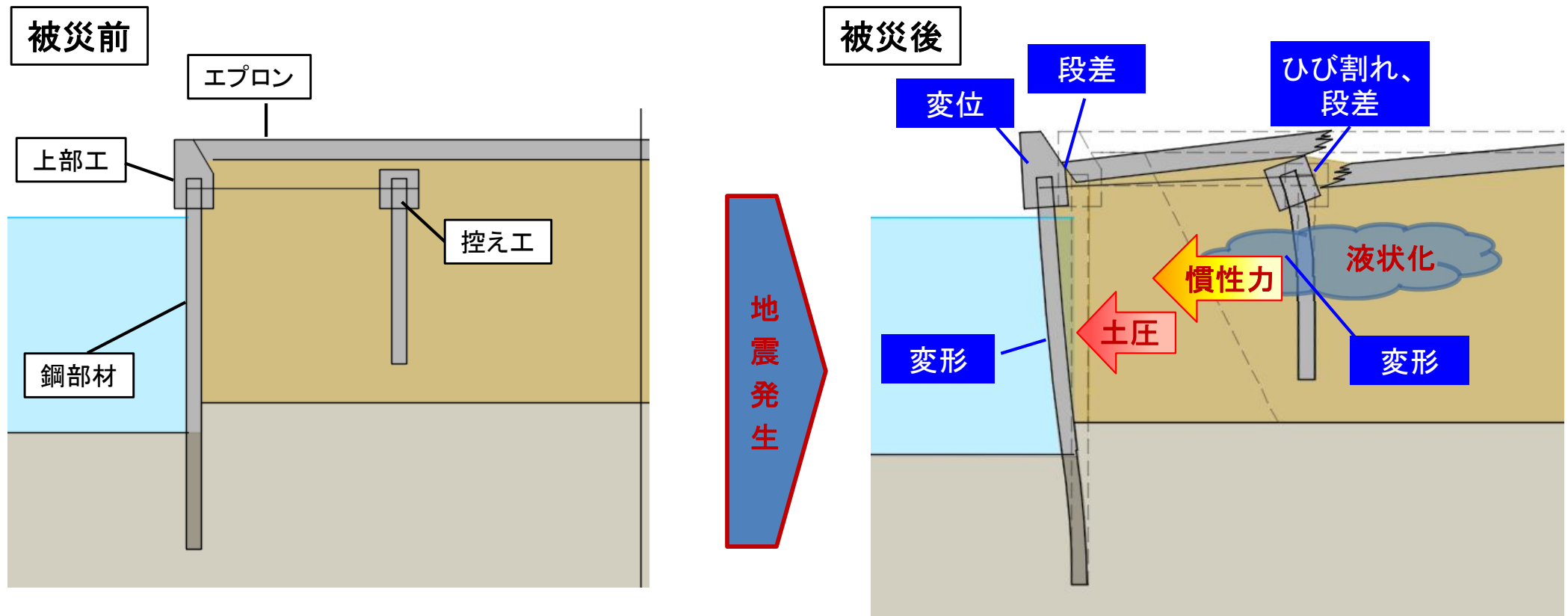
被害状況を踏まえた被災メカニズム

令和8年 8月28日
九州地方整備局

1. 係留施設(矢板式)の被災メカニズム

【被災メカニズム】

- 地震動による慣性力の作用、並びに背後地盤の液状化に伴う地震時土圧の増大により、鋼部材(鋼管矢板、鋼矢板)の変形、控え工の変形、エプロンのひび割れや段差、上部工の変位等が発生。



2. 係留施設(土留め一体ジャケット栈橋式)の被災メカニズム

【被災メカニズム】

- 地震動による慣性力の作用及び土圧の増大により、ジャケット栈橋部の鋼管杭が変形し、ジャケット栈橋部と土留めの海側への変位が発生。
- これに伴い背後地盤には段差が発生。

